

令和 4 年度

学校自己評価表（計画）

| 学 校 運 営 計 画   |  |   |
|---|--|---|
| 学校運営方針  | <p>【教育目標】いつも明るく希望をもって、積極的に自己の運命をきり開いていく人間を育成する。</p> <p>【学校運営方針】</p> <p>(1) 生徒の充実感と保護者の満足が得られる学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 規範意識と他者を思いやる心を育成し、生徒が安全安心に過ごせる学校</li> <li>○ 確かな学力の育成と 3 年間の計画的、継続的な指導で進路実現を図る学校</li> </ul> <p>(2) 全日制単位制の特長を生かした教育を推進する学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な科目選択により、得意分野の伸長や希望進路を実現できる学校</li> <li>○ 自分の将来について考え、決断し、実行する力を育む学校</li> </ul> |   |
| 昨年度の成果と課題   | 年度の重点目標  | 具体的目標   |
| <p>昨年度の成果と実績は以下のとおりである<br/>( )は前年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生活満足度調査<br/>1年 87.6%(80.5%)<br/>2年 69.2%(72.7%)</li> <li>・ 入学者一般選抜倍率<br/>1.15倍(1.18倍)</li> <li>・ 中途退学者(率)<br/>4名【0.6%】<br/>(0名【0%】)</li> <li>・ 転学者数(率)<br/>10名【1.6%】<br/>(14名【2.1%】)</li> <li>・ 出席率<br/>1年 97.9%(98.2%)<br/>2年 97.5%(98.0%)<br/>3年 97.0%(98.0%)<br/>全体 97.5%(98.1%)</li> <li>・ 進路実現<br/>就職：3月末内定率<br/>97.7%(100%)<br/>進学：国公立大合格<br/>0名(1名)<br/>公立短大<br/>0名(2名)</li> </ul> | 1 基本的な生活習慣の確立。規範意識の醸成。教育相談等の充実   | <p>ア 基本的な生活習慣の確立 規範意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時間厳守、挨拶励行などの基本的な習慣が身につくよう粘り強く指導する</li> <li>・ 身だしなみ等については、本校規定に基づいて教職員全体で指導する。</li> </ul> <p>イ いじめ見逃しゼロ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員全体での情報共有を確実に行き、組織的に対応する。</li> <li>・ 有事の際には、法令および「いじめ対応マニュアル」により対応する。</li> </ul> <p>ウ 教育相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的面談・緊急的面談を実施し、生徒理解に基づく丁寧な指導、学級運営を行う</li> <li>・ 各種事案を担当等が抱え込まず、組織的に対応する</li> <li>・ スクールカウンセラー等を積極的に活用する。</li> </ul> |
|   | 2 学習習慣の確立。基礎・基本の定着。学びのある授業実践。  | <p>ア コロナ禍における学習保障</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 臨時休業時や陽性者または濃厚接触者となり登校できない生徒への学習保障に努める</li> </ul> <p>イ 教育の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの実践に加え、1人1台端末をはじめとするICT環境を効果的に活用する</li> <li>・ ICTの活用により、学ぶ意欲を向上させ、能動的・主体的な学びを推進するとともに、探究的な学びの機会を創出し、確かな学力を育成する</li> </ul> <p>ウ 学習評価の改善・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指導と評価を一体化させ、教員の指導改善や生徒の学習改善につなげる。</li> </ul>  |
|   | 3 進路情報の積極的な提供。丁寧な個別指導による進路希望の達成。   | <p>ア 進路情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒・保護者に、早い段階から積極的に進路情報を提供するように努める</li> <li>・ 進路選択と科目選択を関連づけた丁寧な指導に努める</li> </ul> <p>イ 生徒に寄り添った指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒や保護者の意向を汲み、個々の状況に応じたきめ細かい指導を行う</li> <li>・ 進路希望の実現に向け、粘り強く取り組むよう支援・指導す</li> </ul>  |
|   | 4 保護者や地域に信頼される「開かれた学校」づくり  | <p>ア 学校評価の実施による学校運営改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒による学校評価、授業評価及び自己評価アンケートを実施する</li> <li>・ 保護者による学校評価、自己評価アンケートを実施する</li> </ul> <p>イ 保護者等への確実な情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校HP等の充実を図る</li> </ul>  |

| 重点目標   | 具体的目標                                | 具体的方策  | 評価 |
|--|--------------------------------------|--|----|
| 1<br>基本的生<br>活習慣の<br>確立。規範<br>意識の醸<br>成。教育相<br>談等の充<br>実 | ア 基本<br>的生活習<br>慣の確立、<br>規範意識<br>の醸成 | 頭髪・服装指導を軸に、身だしなみについて考えさせる指導を、年間を通して定期的・継続的に実施する。（生徒指導部）            |    |
|  |                                      | 始業時および各時限における時間遵守の徹底をはかり、時間を守る態度や実践力を育む。（生徒指導部）                    |    |
|  |                                      | 規範意識を高め、集団生活に適應する能力を養う。（生徒指導部）                                     |    |
|  |                                      | 校外生活における正しい生活習慣を身に付けさせ、非行や犯罪に関与しない道徳的態度を養う。（生徒指導部）                 |    |
|  |                                      | 登校したら、スマートフォン等をロッカーにしまわせることを定着させる。SNSの適切な使用方法について、指導する。（生徒指導部）     |    |
|  |                                      | 始業時および各時限における時間遵守の徹底をはかり、時間を守ることの重要性を指導する。（1年次）                    |    |
|  |                                      | 頭髪服装検査を定期的に行い、高校生としての身だしなみについて考えさせる。年間を通して継続的な指導を行う。（1年次）          |    |
|  |                                      | 生徒同士が互いに尊重し、敬愛し合うことにより、良好な人間関係を構築できるよう指導する。（1年次）                   |    |
|  |                                      | 高校生としての在り方（服装を整える・時間を守る）を身に付け、基本的な生活習慣の確立を図る。（2年次）                 |    |
|  |                                      | 挨拶の励行や時間厳守などの基本的な生活マナーの定着を図る。身なりや言動に自覚を持たせ、コミュニケーション能力の向上を図る。（3年次） |    |
|  |                                      | 生徒会執行部を中心に、各委員会、各クラス、職員が連携し、学校全体で行事に取り組む。（生徒会指導部）                  |    |
|  |                                      | 生徒の活動を支援するためのよりよい仕組みを常に検討する。（生徒会指導部）                               |    |
|  |                                      | 生徒会執行部への加入をすすめ、行事の立案など中心となる生徒を育てる。（生徒会指導部）                         |    |
| 部活動の活性化のため、活動費を支援し、部活動紹介などで積極的な参加を促す。（生徒会指導部）            |                                      |  |    |
| イ いじ<br>め見逃し<br>ゼロ                                       |                                      | 困っている生徒が、教員やスクールカウンセラー等に、いつでも何でも話せるような校内体制と雰囲気を作る。（いじめ対策委員会）       |    |
|  |                                      | 困っている生徒には、全職員が早急に、最善の方法で対処できるよう、研修等を通じて力量を高めるよう計画を立てる。（いじめ対策委員会）   |    |
|  |                                      | 人権教育、同和教育を通じて、人権尊重の精神を養う。（人権教育、同和教育委員会）                            |    |

|   |                        |  |  |  |
|---|------------------------|--|--|--|
|   | ウ 教育<br>相談体制<br>の充実    | 職員自らが積極的に挨拶、声かけを実践する。(生徒指導部)   |  |  |
|   |                        | 生徒相互がよりよい人間関係を構築できるよう、職員は常に生徒理解に努める。(生徒指導部)  |  |  |
|   |                        | 生徒が抱える多様な問題に柔軟に対応するため、全職員の共通理解をはかる。(生徒指導部)   |  |  |
|   |                        | 学校外の諸機関との連携をはかり、情報交換を密に行う。(生徒指導部)  |  |  |
|   |                        | 保護者に対する情報提供を心掛け、相互協力体制を築く。(生徒指導部)  |  |  |
| 2                                       | ア コロナ<br>禍における<br>学習保障 | 登校できない生徒の家庭学習を支援するために、ICTを効果的に活用する。(全年次、教育環境部)   |  |  |
| の確立。基<br>礎・基本の<br>定着。学び<br>のある授<br>業実践。 | イ 教育<br>の質の向<br>上      | ICTに関する職員研修や互見授業週間を行い、ICTの効果的な活用方法を探究するとともに、授業改善に向けた取組を促進する。(ICT授業改善委員会)   |  |  |
|   |                        | 授業変更黒板の活用を促し、職員の出張が重なる時期にも授業の振り替えが円滑に進むように環境を整える。(教務部)   |  |  |
|   |                        | ICTを活用した授業が円滑に行われるよう、ICT機器の管理や設定、ICTルームの運営を適切に行う。(教育環境部)   |  |  |
|   |                        | 高校における単位履修と修得、進級の仕組みについて、随時説明し、毎日の授業に真剣に取り組むことの大切さを理解させ、自覚させるように指導する。その上で、毎日の家庭学習が定着するように、定期考査前や長期休業前に計画を立てさせ、それを実践できるよう指導する。(1年次) |  |  |
|   |                        | 普段の授業や家庭学習の定着など、継続的な学習習慣の確立と基礎学力の向上を図る。(2年次)   |  |  |
|   | ウ 学習<br>評価の改<br>善・充実   | 授業時数を確保するとともに、放課後や長期休業を活用して補習ができる環境づくりをする。また、科目ごとに具体的学習到達目標を設定し、担当で目標を共有する。(教務部)   |  |  |
|   |                        | 定期考査後や長期休業後の課題テストの結果を振り返らせ、不足している部分を具体的に指摘し、その後の学習に生かせるよう指導する。(1年次)  |  |  |
|   |                        | 模擬試験の受験やサポートアイテムの利用など、学力や実力を把握する。資格・検定試験の合格を目指す。(2年次)  |  |  |
| 3                                       | ア 進路<br>情報の提<br>供      | 関係機関や学校独自による啓発のための進路説明会を実施する。(進路指導部)   |  |  |
| の積極的<br>な提供。丁<br>寧な個別<br>指導によ           |                        | 進路講演会やキャリア教育講演会によって、進路実現のために必要な取組や社会規範、その知識及び実践方法を理解させる。(進路指導部)  |  |  |
|   |                        | 保護者向けの進路説明会を実施し、保護者との連携を深める。(進路指導部)  |  |  |

|                                    |                    |  |      |  |
|------------------------------------|--------------------|--|------|--|
| る進路希望の達成。                          |                    | ハローワークとの連携を深め、インターンシップを実施し、職業観を育成するとともに、進路に対する意識を高め、進路実現に役立てる。(進路指導部)                              |      |  |
|                                    |                    | 進路学習を通じ、早い時期から自分の進路希望を明確なものとするように指導する。(1年次)  |      |  |
|                                    |                    | インターンシップやキャリアセミナーを通して、将来就きたい職業について具体的に考えさせ、その実現に向けて必要なことは何かを考えるきっかけとさせる。(1年次)                      |      |  |
|                                    |                    | 学校見学や各種ガイダンスに参加させ、早期の進路決定を促し、キャリア教育の充実を図る。(2年次)  |      |  |
| イ 生徒に寄り添った指導                       |                    | 進学、就職関係資料の充実と、過去の実績の開示や相談を行う。(進路指導部)   |      |  |
|                                    |                    | 進路指導部による進学・就職希望者の個別面談を実施する。(進路指導部)   |      |  |
|                                    |                    | 卒業生を学校に招き、企業の現状などの講話をしてもらおう等の交流を通して、生徒が社会へと巣立つ準備をさせる。(進路指導部)                                       |      |  |
|                                    |                    | 教育相談や三者面談などの機会を活用して、本人・家庭との連携をはかり、進路実現のためのサポートやバックアップを行う。(3年次)                                     |      |  |
|                                    |                    | 進路ガイダンスや各種模擬試験、進学補習や小論文指導、面接指導などを通して、実践力の向上を図る。(3年次)   |      |  |
| 4 保護者や地域に信頼される「開かれた学校」づくり          | ア 学校評価の実施による学校運営改善 | 年次や他の分掌と連携を密にし、各種行事が効率よく、円滑に進むように調整をはかる。(教務部)  |      |  |
|                                    |                    | 公開授業を実施し、職員間で多くの情報を共有するとともに、授業のさらなる改善に資する。(教務部)  |      |  |
|                                    |                    | アンケート形式で生徒が学校、授業、自己を評価する。(ビジョン委員会)   |      |  |
|                                    |                    | アンケート形式で保護者が学校や自己を評価する。(ビジョン委員会)   |      |  |
|                                    |                    | 教員が自らの資質向上や授業改善のため、自己申告シートや授業評価シートを作成し、管理職とともに教科指導や生徒指導、分掌や部活動での課題を見出し、新たな目標に向けて実践を積み重ねる。(校務運営委員会) |      |  |
|                                    | イ 保護者等への確実な情報提供    | 学校ホームページを適宜更新し、保護者や地域に対し、最新の情報を提供する。(教育環境部)  |      |  |
| P T A活動をとおして、保護者との連携、協力を図る。(教育環境部) |                    |  |      |  |
| 成果                                 |                    |  | 総合評価 |  |